

検査情報月報 3月号 ◀ 概要版 ▶



Eiちゃん

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、『検査情報月報』を発行しています。



農産物の残留農薬検査結果（令和2年11月）

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。

当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。今回は、令和2年11月に健康福祉局食品専門監視班が収去した市内産農産物の検査結果を報告します。

- 主な結果** ▶ キャベツ 3 検体、かぶの根及びだいこんの根各 2 検体、かんしょ 1 検体の計 8 検体について検査を行いました。
- ▶ **いずれの検体からも、農薬は検出されませんでした。**

横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和3年2月）

衛生研究所WEBページは平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報を提供しています。

この記事ではアクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられていたかを解説しています。



- 主な結果** ▶ 2月の総アクセス件数は、342,270件でした。このうち、**横浜市感染症情報センターが提供している記事へのアクセスが、9割を占めました。**
- ▶ 横浜市では、衛生研究所 感染症・疫学情報課内に横浜市感染症情報センターを設置しています。本センターでは感染症対策の一環として、市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、速やかに提供・公開しています。
- ▶ アクセス件数上位 **8位には、「ライノウイルスについて」が入っていました。**
- ▶ ライノウイルスは、鼻、のどといった上気道の炎症を起こします。カゼの主な原因ウイルスとされています。

横浜市衛生研究所

検索



Kenくん

横浜市 検査情報

検索

